

地域ケア会議 NEWS☆LETTER

発行：小諸市地域ケア推進会議事務局（小諸市高齢福祉課・小諸市地域包括支援センター）

令和3年度 第2回地域ケア推進会議を開催！

11月22日小諸市役所にて、今年度第2回目の地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進会議を開催しました。

今回は、小諸市の認知症に関する現状と小諸市の取組みについて、高齢福祉課宮坂保健師より『認知症初期集中支援チーム』の昨年度の活動を中心に説明があり、その後、平成30年度より取組みを進めている『認知症介護者家族の不安・負担を軽減するための対応策』について、各機関・団体より取組み状況の報告とグループワークを行いました。

また、『つながりを切らさない取組み』について、高齢福祉課五十嵐社会福祉士より実態調査結果報告があり、地域課題として『つながりの多様性』を考えていく必要がある旨確認しました。



▲地域ケア推進会議は認知症初期集中支援チームの検討委員会を兼ねています。

【認知症と共に～咲かせよう！自分らしさの花～】何があったら安心？ 地域ケア推進会議でグループワークを行いました

地域ケア推進会議は、認知症初期集中支援チームの検討委員会を兼ねており、認知症初期集中支援チームの活動をはじめ、小諸市の認知症に係る課題や取組みについて協議しています。

今回の会議では、『相談やサービス利用に至る前、ちょっと気になる症状が出てきたときなど、（人や物、場所…）何があったら安心できますか？』をテーマにグループワークを行いました。

グループワークでは、参加者の皆さんが、それぞれの立場で、日ごろ認知症の方やその家族との関わりの中で感じていることや課題、必要な資源について活発に意見交換が行われていました。

【出された意見の一部をご紹介します】

- ・誰にとっても『安心』なのか、立場（本人・家族・支援者）によって感じ方や捉え方は変わる。
 - ・お茶のみ友達、家族友人がいるとよい。いなくても地域の健康達人区らぶやお茶のみ場、病院と繋がっていると安心。
 - ・地域で心配していても、本人や家族が困っていないケースもある。そのような場合でも地域包括支援センター等に相談をつなげていくことが大切。
- ◆今回のグループワークを通じ、今ある資源を生かしていくこと、地域住民・支援者で共通認識を持つことの重要性や家族や本人の認知症や介護についての捉え方への配慮が必要なが見えてきました。今後の認知症への取組みに活かしていきます。



【つながいを切らさない取組み】

実態調査の結果を共有・課題を確認しました！

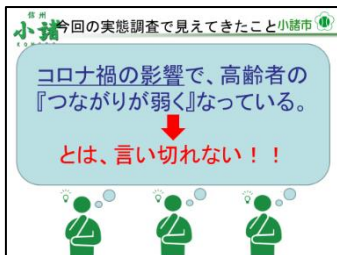
11月に開催した推進会議では、実態調査の結果を共有し、調査から、以下の3点が見えてきました。

- ①小諸市には社会的孤立の恐れがある高齢者がいる。
- ②コロナ禍の影響でつながりが弱まっているとは言い切れない。
- ③『社会的孤立のリスク』には就労の有無、世帯形態、地域活動への意欲と関連が大きい傾向がみられる。

この結果をふまえ、地域課題を

つながりを切らさない取組みとあわせて、つながりの多様性を考えていく必要がある

と確認しました。今後は、目指す地域の姿を描き、課題解決・目指す地域の姿実現に向けたアイデアを検討していきます。



身寄りのない住民の身元保証

小諸市の取組みをセミナーで報告しました！

令和3年12月15日に長野市にて『医療・福祉現場の身元保証人問題を考えるセミナー』（公益社団法人長野県社会福祉士会主催）が開催され、その中のオープンセッションで小諸市の身寄りのない住民の身元保証に係る地域ケア推進会議での協議内容や、課題解決に向けた取組みについて報告しました。

セミナーでは、県社会福祉法人経営者協議会が昨年11月に実施した「入所施設における身寄り問題に関するアンケート調査」の結果を共有。県内68の社会福祉法人のうち、2割に当たる16法人が親族ら「身元引受人」か「身元保証人」がいないことを理由に高齢者らの施設入所を断った経験があり、身元引受人らがいない入所者を受け入れている法人は、検査など医療行為の同意や、施設利用料が未納といった課題があるとの回答があったとのことでした。

また、現場からの発信として、県内2つの高齢者施設から「マニュアル作成の経過と課題、活用の事例について」「関係機関との連携により身寄り問題を乗り越えた事例」について事例発表がありました。

オープンセッションでは、施設、成年後見人、関係機関（行政）それぞれの立場で、身寄りのない方の施設入所に係る困り感や、それぞれが課題解決に向け、取り組んでいることなどを共有し、意見交換を行いました。

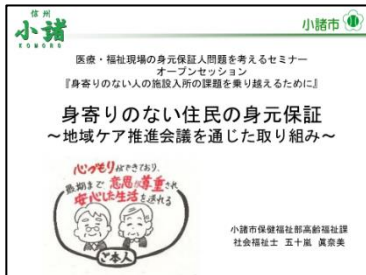
高齢福祉課五十嵐社会福祉士が、小諸市の取組みとして、地域ケア推進会議で、地域課題と目指す地域の姿を確認。課題解決に向けて小諸市版『役割分担シート』『事前指示書』の作成をワーキンググループで進めている旨報告しました。

身寄りのない方の対応は、もはや『例外』ではなく、入所施設における身元保証人問題を解決するためには、『身元保証機能の役割分担』『関係者の連携・協力』『意思決定支援』の視点が重要

である旨を参加者で確認することができたセミナーでした。



▲セミナーはオンラインで開催。県内の福祉施設や社協、行政職員、司法専門職など150名が参加しました。



【編集後記】地域ケア会議をもっと皆さんに知ってもらいたい！！という思いで、平成30年から発行しているこのニュースレター、今回10号を迎えました。これからも、ニュースレターを通じて、推進会議や地域での取組みを広く発信していきます！取材依頼お待ちしております！！気が付けばあっという間に年度末です。今年度のまとめ・振り返りをしっかり行い、4月からの新年度につなげていきたいと思っております！！

